



10月30日は「食品ロス削減の日」

「食品ロス」とは、まだ食べられる状態なのに廃棄される食品のことです。日本国内で1年間に廃棄される2,759万トンの食品のうち、643万トンが「食品ロス」だと言われています。「食品ロス」を減らすため、下記の取組を実践しましょう。

家庭で	買いすぎない 買い物の前に冷蔵庫などにある食材をチェックし、必要なものを使いきる量だけ購入する	作りすぎない 食べきれぬ量を計画的に作り、野菜の皮や葉なども無駄なく使いきる	食べ残さない 残さず完食。残った場合は冷蔵庫で保存し、リメイクレシピなどで工夫して食べきる
	外出先で	食べきれぬ量だけ注文する 小盛りやハーフサイズを選ぶ。苦手な食材は、変更できるかお店に確認する	宴会では～3010(サンマルイチマル)運動～ 乾杯後30分と終了前10分は自分の席で料理を楽しむ。幹事は食べきり呼びかけ、食べきれない分は持ち帰ることができるか確認する

使いきるのが難しい食材や、いつもは捨ててしまう部分を使った美味しいレシピが紹介されています。

消費者庁のキッチン
(クックパッド)



やまぐち食べきりアイデア
(県ホームページ)



〈問い合わせ先〉環境課 (☎ 82-1143)



地域包括支援センターをご存知ですか？

◎認知症かも？困ったときはご相談ください！

地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を続けることができるように支援を行うための総合相談窓口です。保健師や主任ケアマネジャー、社会福祉士等の専門職がご本人の体の状態や生活の困りごと等に応じて、相談や支援を行っています。また、より身近な地域で相談できるよう各地域にサブセンターを設置しています。お困りのことがあればお気軽にご相談ください。

◎相談内容 介護・介護予防、健康、福祉、医療、認知症、近所の気になる高齢者のこと、高齢者の権利(人権や財産管理)など

●地域包括支援センター(高齢福祉課内 ☎ 82-1149)

※相談受付は月～金曜日の8:30～17:15(祝日、年末年始を除く)

【相談窓口】 〈サブセンター〉

●小野田赤十字在宅介護支援センター(小野田赤十字病院内 ☎ 88-4344)

●おのだ在宅介護支援センター(長寿園内 ☎ 84-7055)

●高千帆苑在宅介護支援センター(高千帆苑内 ☎ 84-7093)

●山陽在宅介護支援センター(社会福祉協議会山陽支所内 ☎ 72-3000)

●サンライフ山陽在宅介護支援センター(サンライフ山陽内 ☎ 76-3450)

〈問い合わせ先〉地域包括支援センター(高齢福祉課内 ☎ 82-1149)